科目概要、お持ちもの等連絡事項

（聖徳大学免許法認定公開講座）

令和６年度 冬期・春期 開設科目	担当講師

幼児と環境

聖徳大学兼任講師　井口　厚子

【概要】
　領域「環境」の指導に関する、幼児を取り巻く環境や幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養う。具体的には、幼児を取り巻く環境の諸側面と幼児の発達におけるそれらの重要性を踏まえ、環境のもつ教材性と幼児と環境の関わりを考慮し、具体的指導を考える。また、乳幼児期の思考・科学的概念の発達の理解、幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりの発達を理解し、指導内容、環境の構成を具体的に学ぶ。さらに、知識基盤型社会及び持続可能な開発のための教育（ESD）など幼児を取り巻く環境の現代的課題について理解する。

【教科書】
　文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』フレーベル館　264 円

【連絡事項】
・授業内レポート（試験）の実施予定。

社会科教育法

聖徳大学大学院教授　石田　清彦

【概要】
　学習指導要領が示す目標や指導内容を理解するとともに、次の３つの観点から小学校社会科の授業づくりについて学ぶ。①学習指導要領の基本となる「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習課程「問題解決学習」について理解する。②３～６学年の指導内容と指導の重点を理解するとともに、実践事例を基に学習指導を構想する力を身につける。③単元の指導計画及び学習指導案の作成方法を理解するとともに、小学校社会科の学習指導案を作成する力を身に付ける。

【教科書】
　文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』日本文教出版　157 円

【連絡事項】
・教科書を持参。
・所属校が小学校の場合は、「社会科の年間指導計画」（作成している場合）を持参。
・後日提出レポートを実施予定。

図画工作科教育法　　聖徳大学准教授　西園　政史

【概要】
　この講座では、講義と教材研究を通して、図画工作における「見方・考え方」を理論と実践の両面から理解する。そのなかから、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」がどのような活動のもとに成立するのかを、受講者同士で意見交換しながら理解に結び付けていく。さらに、学習指導要領・図画工作の特徴について、指導方法や授業の組み立てとともに理解し、題材の分析、題材の選択、指導案作成、模擬授業、授業評価などができるようになることを目的とする。

【教科書】
　文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 図画工作編』日本文教出版　　110 円

【連絡事項】
・スケッチブックまたは画用紙 10 枚程度（八つ切り程度）、クレヨン、水彩絵の具、筆、パレット（筆洗バケツは不要）、はさみ、のりを持参。
・後日提出レポートを実施予定。

保育内容指導法Ⅰ（健康）　　聖徳大学兼任講師　佐野　裕子

【概要】
　この講座では、『幼稚園教育要領解説平成 30 年 3 月』に示されている「幼稚園教育の基本」を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容、指導上の留意点などについて具体的に学び、小学校教育とのつながりや、領域「健康」における幼児教育のあり方を理解する。また、幼児の心身の発育・発達や健康的な生活を営むための基礎理論を理解し、心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を習得する。併せて、現代社会における幼児の生活課題について理解を深め、園や家庭、地域社会の健康を支える教師の支援の在り方について考究する。

【教科書】
　文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』フレーベル館　264 円

【連絡事項】
・はさみ、セロテープを持参してください。※１日目の１２月１４日(土)の授業内で使用。
・授業内レポート（試験）の実施予定。

保育内容指導法Ⅰ（人間関係）

聖徳大学大学院教授　河合　優子

【概要】

子どもが、自己の力を発揮して遊びや生活をするための「仲間」「時間」「空間」が失われ、子ども同士が群れて遊ぶ姿は少なくなっている。さらに新型コロナウイルス感染症への対応や ICT の発展などが、人との関わりを一層難しいものにしている。このように子どもを取り巻く社会環境が変化する中で、人間関係の育ちにおいても、コミュニケーション能力の低下、自制心や規範意識の不足などが課題となっている。本講座では、これらの課題を踏まえ、園生活でどのように「人と関わる力」を育てるかを探求する。領域「人間関係」に示された事項への理解を深めながら、子どもの発達と遊びの中での人間関係（自己発揮、自己主張、自己抑制、いざこざやトラブルの原因と対応、道徳性の芽生え等）及び指導について考える。

【教科書】

文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』フレーベル館　264 円

【連絡事項】

・文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』を持参。
・状況に応じてグループワーク（実践や生活の中で捉えた子どもの姿等をもとに討議）を予定しています。
・授業内レポート（試験）の実施予定。

保育内容指導法Ⅱ（言葉）

聖徳大学短期大学部教授　東川　則子

【概要】

『言葉』について学ぶ上で、言葉の機能、言葉の獲得や発達過程の理解は重要であるため、テキストを用いて学びを確認したい。

平成 30 年度より実施された幼稚園教育要領においては、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示された。その中には、『言葉による伝え合い』や言語活動の充実を図ることの重要性が挙げられている。これらについては、幼稚園教育要領解説を用いて学んでいく。

教材についても重要性が示されたことから、受講生各自が持参する絵本を通して、また、実際に言葉遊びを行うことで、実践的に学んでいく。

言葉に関する障害の種類や指導の在り方、さらには、外国人幼児への指導の在り方、幼小連携からの文字の指導などについては、テキストや具体的な事例を提案し合い、学びを深めていく。

【教科書】

（1）塩 美佐枝・藪中 征代・東川 則子・古川 由紀子・川並 珠緒・古川 寿子著『言葉の発達を支える保育』聖徳大学出版会　1,760 円
（2）文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』フレーベル館　264 円

【連絡事項】

・3～5歳児向けに読み聞かせをする絵本を１から２冊持参。（２日目　３月１６日（日）に使用）
・後日提出レポートを実施予定。

教育基礎論　　聖徳大学教授　森　貞美

【概要】
　情報技術の革新及びグローバル化の進行などの社会変化とともに教育の在り方も新たな対応が求められている。本講座では、教育の理念と目的、教育の歴史と制度について概観し、今日における教育改革の課題について考えることにする。主に教育の本質と目的、教育の歴史的変遷と思想、教育制度の基本原理と教育法規、現在の社会の変化と教育の現状、教育の課題について取り上げ、理解を深めていく予定である。

【連絡事項】
・教科書は使用しません。当日、資料を配付します。
・授業内レポート（試験）を実施予定。

発達心理学　　聖徳大学教授　相良　順子

【概要】
　発達心理学は、胎児期から老年期までの心理的成長や変化を対象とする。本講座は、このような生涯発達の視点をとりながら、主に幼児期から青年期までの発達を取り上げ、幼児、児童及び生徒の心理を理解し、発達に応じた支援について考える。子どもの言語発達、認知発達、社会性の発達、青年期の自己など心身の発達の基礎的知識を獲得すると同時に、動機づけや学習理論など子どもの主体的な学習活動を促すような概念や理論についても理解を深め、保育や教育の現場における子どもの問題を捉える際の発達心理的視点を持つことを目的とする。

【教科書】
　次郎丸睦子・五十嵐一枝・相良順子・芳野道子・髙橋淳一郎編著　『現代の子どもをめぐる発達心理学と臨床』　福村出版　2,640 円

【連絡事項】
・教科書は必ず持参。授業内レポート（試験）を実施予定。

道徳教育の指導法　　聖徳大学大学院教授　染谷　由之

【概要】
　学習指導要領に記載されている「道徳教育」「特別の教科道徳」の目標、内容、指導計画及び内容の取扱い、授業の在り方などについて、基本的な考え方及び指導方法について理解することを主な目的とする。内容は、我が国の道徳教育の変遷及び学習指導要領に示されている目標と内容、特質に基づいた指導理論を扱う。学校で即戦力として役立つ具体的・実践的な事例にも触れるとともに、学習指導案の作成演習を行う。

【教科書】
（１）文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編』東洋館出版社　325円
（２）文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別の教科道徳編』あかつき教育図書　149 円

【連絡事項】
・後日提出レポートを予定。

教育方法・情報通信技術活用論

聖徳大学大学院教授　石田　清彦

【概要】
　授業をつくる資質・能力を身に付けるために、授業づくりに関わる基本的な考え方、授業場面での様々な指導技術、ICT（情報通信技術）の効果的な活用方法について、次の２つの観点から学ぶ。①子どもたちに育みたい資質・能力と教師に求められる授業力を理解するとともに、主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザインの考え方に基づいた効果的で魅力的な授業設計・授業実施・授業評価の方法について理解する。②個別最適な学びと協働的な学びを実現する効果的な ICT の活用方法・活用場面を考えるとともに、情報活用能力を育成する意義とその方法について理解する。

【教科書】
　稲垣忠編著　教育の方法と技術〈Ver.2〉（改訂版）　ID と ICT でつくる主体的・対話的で深い学び　北大路書房　2,420 円

【連絡事項】
・教科書を持参。
・後日提出レポートを実施予定。

教育相談（カウンセリングを含む）

聖徳大学教授　沢崎　真史

【概要】
　学校や幼稚園の中での教育相談活動は、現在ではスクールカウンセラーなど専門家が学校や幼稚園で活躍する時代になりつつあるが、まだまだ時間的にも不足しており、十分に機能しているとは言えない。その意味で、子どもや保護者に一番近い存在である教員の教育相談活動が重要となる。今回の授業では、カウンセリングの基礎的な学習を通して、学校や幼稚園にいる子どもたちや保護者への援助について考えていくとともに、学校心理学の観点から、学校や園にいるすべての子どもたちを視野にいれた援助についても考えていきたい。講義と体験学習を通して、新しい発見をしていく。

【連絡事項】
・当日、資料を配付します。
・授業内レポート（試験）を実施予定。

知的障害者教育

聖徳大学大学院教授　河村　久

【概要】
　知的障害及び自閉スペクトラム症のある児童生徒の教育に関する基礎的なことがらを理解し、実践に生かす力を養うことを目的とする。内容は、知的障害及び自閉スペクトラム症の特性の理解、その特性に応じた教育課程や指導計画の特徴の把握、指導の実際について学習する。また、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用について事例をもとに学ぶ。指導方法は講義を中心とするが、受講者間の意見交換、課題ワーク等を取り入れて実施する。

【参考図書】
　聖徳大学特別支援教育研究室編『改訂 3 版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育―みんなで進める特別支援―』聖徳大学出版会　1,760 円

【連絡事項】
・参考図書として『改訂 3 版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育―みんなで進める特別支援―』（聖徳大学出版会）¥1,760 を紹介します。授業では講師資料を中心に進めますが、上記の参考図書を参照することをお勧めします。
・これまでの経験の中で、知的障害児や自閉スペクトラム症のある児童生徒への指導経験があれば、その経験をまとめておいてください。授業の中で発表していただくことがあります。
・後日提出レポートを実施予定。

知的障害者の心理・生理・病理

聖徳大学大学院教授　中舘　尚也
聖徳大学大学院教授　腰川　一惠

【概要】
　知的障害とは知能指数（IQ）70 以下の適応能力の低下のことを意味し、染色体異常を原因とするダウン症候群、遺伝子異常を原因とするプラダーウィリー症候群やアンジェルマン症候群、知的障害を合併した発達障害（神経発達症）などがあります。特別支援学校などで知的障害児に接しておられる先生方には、その医学的な原因と発症の仕組み、ならびに心理学の立場から、知的障害の発達特性の理解も深めていただき、教育の一助にしていただきたいと考えている。

【教科書】
　聖徳大学特別支援教育研究室編『改訂 3 版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育―みんなで進める特別支援―』聖徳大学出版会　1,760 円

【連絡事項】
・後日提出レポートを予定。